年間授業計画　新様式例

高等学校 令和７年度（１学年用） 教科　：公民科　　科目　：公共

教　科：　：公民科　　科　目：　：公共　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　１組～　５組

教科担当者：（ １組：倉田 ）　（ ２組：倉田 ）　（ ３組：倉田 ）　（ ４組：倉田 ）　（ ５組：倉田 ）

使用教科書：（ 公共704 『公共』（実教出版）　　）

教科　：公民科　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】選択・判断のための概念・理論を理解し，諸資料から情報を調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】現代の諸課題の解決に向けて，多面的に考察し公正に判断する力や議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】現代の諸課題を主体的に解決する態度を養い，国際協力の大切さについての自覚などを深める。

科目　：公共　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し，諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	現実社会の諸課題の解決に向けて，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	・自らの体験などを振り返ることを通して，自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解させる。	１．生涯における青年期の意義 ○人生における青年期の意義を理解する。 ○青年期の特徴を理解する。	・青年期の意義と特徴について理解している。 ・自我について多面的に考察している。 ・人生における青年期の意義と特徴について，多面的に考察し，適切に表現している。	○	○	○	6
	・自己理解を深め、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解させる。	○青年期において直面する葛藤や欲求不満などの困難とその対処法を理解する。 ○青年期の発達課題を理解する。	・葛藤や欲求不満とその対処法，パーソナリティの理論について理解している。 ・望ましい自己のあり方と自己形成について多面的に考察し，適切に表現している。 ・社会のなかでの自立した自己形成について，協働的に考察し，適切に表現している。	○	○	○	8
	中間考査			○	○		1
	・自分自身が，自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることが，自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に結び付くことについて理解させる。	○働くことの意義と社会参加の意義を理解する。 ○望ましい社会のあり方と自己の生き方との関連について考える。	・職業のさまざまな意義と，職業選択と自己の生き方を結びつけて考えることの重要性について理解している。 ・社会参加やボランティアを通じて，社会とのかかわりが自己の形成につながること，また他者とともに協働して生きることの重要性について理解している。	○	○	○	8
	・社会に参画する自立した主体とは，孤立して生きるのではなく，地域社会などの様々な集団の一員として生き，他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し，表現させる。	○望ましい社会のあり方と自己の生き方との関連について考える。	・社会参加やボランティアを通じて，社会とのかかわりが自己の形成につながること，また他者とともに協働して生きることの重要性について理解している。 ・社会参加と自己形成の関連について，p.13「Active」を利用して，協働的に考察し，適切に表現している。	○	○	○	6
	期末考査			○	○		1
2学期	・各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して，人間の尊厳と平等，協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが，公共的な空間を作る上で必要であることについて理解させる。	○民主政治の誕生と発展について理解する。 ○法の支配の考え方について理解する。	・議会制民主主義と多数決原理，民主政治の課題，権力分立の考え方について理解している。 ・議院内閣制・大統領制をはじめとする各国の政治制度の特徴について理解している。 議院内閣制と大統領制の特徴を比較の観点から読み取ることができる。	○	○	○	10
	中間考査			○	○		1
	・個人の尊重，民主主義，法の支配など，公共的な空間における基本的原理について理解させる。 ・公共的な空間における基本的原理について，思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する。	○民主政治の意義と課題について理解する。 ○議院内閣制・大統領制をはじめとする各国の政治制度について理解する。	・憲法の最高法規性につい，多面的に考察し，適切に表現している。 ・多数決の長所と短所について，協働的に考察・構想し，それらを適切に表現している。	○	○	○	10
	期末考査			○	○		1
3学期	・市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解させる。	○経済的な効率性と公平性の対立関係について考える。 ○政府の規模を念頭にして，経済的な課題への対応を考える。	・資源の効率的な配分について，効率性と公平性の観点から多面的に考察している。 ・資本主義経済の成立以降，経済社会がどのように展開していったか，政府の役割の変化と関連させて考察している。				10
	学年末考査			○	○	○	1
							合計 63